

8 / 20 (火) の発表



北海道白老町に2020 OPEN!

報道発表資料の配付日時 8月20日(火) 14時00分

発表項目 (行事名)	令和元年度過疎地域自立活性化優良事例表彰について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>過疎地域自立活性化優良事例表彰は、総務省と全国過疎地域自立促進連盟が、地域の自立と風格の醸成を目指した過疎地域の取り組みを奨励するため、創意工夫をもって過疎地域の活性化に取り組み、優れた成果を上げ、先進的、モデル的事例として活動を行っている団体を毎年度表彰するもので、今年度は、北海道内で夕張市が受賞しました。</p> <p>【令和元年度過疎地域自立活性化優良事例表彰】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国過疎地域自立促進連盟会長賞 <ul style="list-style-type: none"> ・受賞団体 夕張市 ・キャッチフレーズ 地元高校生と共に創る地域交通の未来 ○表彰式 <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和元年10月31日(木) 13時20分から ・場所 青森県リンクモア平安閣市民ホール (青森県青森市柳川1丁目2-14) 「全国過疎問題シンポジウム2019 in あおもり」 <p>(配付資料) 別添「令和元年度過疎地域自立活性化優良事例表彰における優良事例の決定」(総務省報道資料)</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	今後の道内過疎地域市町村の自立活性化の参考や励みになるよう、積極的な報道をお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	空知総合振興局記者クラブ
	同時レク		

担当 (連絡先)	総合政策部地域振興局地域政策課地域政策グループ (担当者: 寺井) TEL ダイヤルイン 011-204-5800 (内線23-473)		
-------------	---	--	--

令和元年 8 月 20 日

総務省

全国過疎地域自立促進連盟

令和元年度過疎地域自立活性化優良事例表彰における 総務大臣賞及び全国過疎地域自立促進連盟会長賞の決定

総務省及び全国過疎地域自立促進連盟は、令和元年度の過疎地域自立活性化優良事例表彰における総務大臣賞及び全国過疎地域自立促進連盟会長賞を、以下のとおり決定しました。

なお、表彰式については、10月31日（木）に青森県青森市で行われる「全国過疎問題シンポジウム2019 in あおもり（全体会）」において執り行います。

1 過疎地域自立活性化優良事例表彰について

本表彰は、地域の自立と風格の醸成を目指した過疎地域の取組を奨励するため、創意工夫をもって過疎地域の活性化に取り組み、優れた成果を上げ、過疎対策の先進的・モデル的事例としてふさわしいこと等を審査の基準として、過疎地域自立活性化優良事例表彰委員会（委員長 宮口侗迪（みやぐち としみち）早稲田大学名誉教授）において選定の上、表彰するものです。

2 受賞事例

◎総務大臣賞（4事例）

団体名	キャッチフレーズ	概要
プロジェクトおおわに 事業協同組合 (青森県 大鱈町)	“人生を賭けて！” ～目指せ！日本の田舎町 再生のお手本づくり！！～	町に伝わる伝承野菜「大鱈温泉もやし」の生産者育成や「大鱈高原野菜」などの特産品の販促活動を通して、町の魅力をPRし集客を図っている。また、交流人口の拡大等を図るため、町内の宿泊施設等と連携し、新たなイベント等の開発にも取り組んでいる。
企業組合であい村 蔵ら (静岡県 松崎町)	夢の華咲かせます！ ～人も町も元気もりもり プロジェクト～	地元食材を使った健康的なランチの開発や、手芸といった高齢者が持つ経験や特技を生かして活躍する機会を提供することで、高齢者の生きがいづくりに寄与している。また、クラウドファンディングを活用して新たな特産品の開発にも取り組んでいる。
あまの 穂づくりの会 (和歌山県かつらぎ町)	神話の里 “天野” のむらおこし	世界遺産である 丹生都比売 神社や町石道等の整備により、美しい景観の維持に取り組んでいるほか、竹を活用した土壌改良材等の開発を行っている。また、地域伝統芸能である「御田祭」の伝承、移住交流を促進するイベントへの参加など多方面で活動している。
特定非営利活動法人 子育てふれあいグループ 自然花 (鹿児島県 枕崎市)	「こどもの声は地域の チカラ！」 ～山間部の過疎集落に おける子育て支援～	親子自然ふれあい体験や子育てサロン等の事業を進めるうち、昔ながらの暮らしには高齢者の経験が不可欠と考え、餅つきやそば打ちなどのイベントの際に、経験豊富な高齢者を講師として迎え入れることで、高齢者の生きがいづくり等に寄与している。

◎全国過疎地域自立促進連盟会長賞（5事例）

団体名	キャッチフレーズ	概要
夕張市 (北海道夕張市)	地元高校生と共に創る 地域交通の未来	JRの廃線に伴う地域公共交通の再編に伴い、公共交通の乗り換えの仮設拠点である「バスまちスポット」の整備や部活便スクールバスの非効率な運行を是正するためのタブレット予約システムの導入等の取組を、地元の高校生の意見も踏まえつつ実施している。
わきのさわ温泉湯好会 (青森県むつ市)	コミュニティセンターを 核にした小さな拠点による 脇野沢創生プロジェクト～ センターだよ！全員集合～	改修された温泉施設の管理運営を集落支援員とともに行っている。また、当該施設では、地元産品を活用した料理教室や、ヨガ、そば打ち、木工、下北ジオパーク関連講座の開設のほか、季節イベント等も行っている。
NPO 法人 五新線再生推進会議 (奈良県五條市)	歴史遺産「幻の五新線」 と、南朝を核とした産官 学連携による奈良県南部 地域の活性化	一度も利用されないまま未完成で終わった鉄道遺構（未成線）を貴重な地域資源と捉え、「全国未成線サミット」をはじめとするイベントを開催している。また、各地の未成線を活用した地域振興の取組事例を学びながら、関係人口の増加にも取り組んでいる。
株式会社 黒滝森物語村 (奈良県黒滝村)	地域が誇れる企業「株式 会社黒滝森物語村」の地 方創生プロジェクト	「地域の課題は地域で解決する」をコンセプトに、観光施設の管理運営を行うとともに、その経営改善を図りながら、地元高齢者の積極的な採用に取り組んでいるほか、高齢者向けの食料や日用品の移動販売、スポーツ振興等にも取り組んでいる。
GOTÔ☆ワンハート (島根県江津市)	言葉や文化の垣根を越え て、心をつに！ ～みんな違ってみんな良 い～	言葉や文化の垣根を越えた人と人との心の触れ合いを信条とし、在住外国人の日本語の習得支援や料理を通じた地域住民との交流会等の開催のほか、日常生活におけるトラブルの解決の仲介などにも取り組んでいる。

※全国過疎地域自立促進連盟は、過疎関係都道府県及び過疎地域市町村等を会員とする団体で、会員相互の緊密な連絡提携により、過疎対策事業の充実強化を図り、過疎地域の自立を促進し、過疎地域における産業・経済の開発振興と、地域住民の生活と文化の向上を図ることを目的とする団体です。

連絡先	
総務省地域力創造グループ過疎対策室	
担	当：長谷、尾高
代 表 電 話	：03-5253-5111
内	線：23136
直 通 電 話	：03-5253-5536
F A X	：03-5253-5537
全国過疎地域自立促進連盟	
担	当：宮原、農間、清田
直 通 電 話	：03-5244-5827
F A X	：03-5244-5828